

2022 年度 個人研究実績・成果報告書

2023 年 4 月 24 日

所属	サービス創造学部	職名	准教授	氏名	仲野 友樹
研究課題	地方における日本版 MaaS について				
研究キーワード	経営情報論、情報システム	当年度計画に対する達成度	2.順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が達成できた		
関連するSDGs項目	9. 産業と技術革新の基盤をつくろう	該当なし	該当なし	該当なし	
<p>1. 研究成果の概要</p> <p>今年度は地方におけるモビリティの変革を進めている日本版 MaaS といったテーマに取り組んだ。それらの研究をもとにして、千葉商大論叢に MaaS 関連で 2 本の論文を投稿した。</p> <p>来年度は新たに開始した共同研究のテーマへの取り組みを実施する。これらの成果をもとにして学会発表、論文投稿をする予定である。</p> <p>2. 著書・論文・学会発表等（査読の有無及び海外研究機関等の研究者との国際共著論文がある場合は必ず記載）</p> <p>【著書・論文（査読なし）】</p> <p>【論文】 『日本版 MaaS の実証実験における MaaS アプリに関する研究』 千葉商大論叢 第 60 巻 第 1 号 2022 年 7 月</p> <p>【論文】 『地方における日本版 MaaS に関する一考察』 千葉商大論叢 第 60 巻 第 2 号 2022 年 11 月</p> <p>3. 主な経費</p> <p>今年度は共同研究のための準備として、新たなテーマに関係する書籍代を中心として研究費を使用した。その共同研究のための打ち合わせとして、出張を実施した。また、Windows11 に対応したノート PC やプリンタのドラムユニット、外付けのハードディスクなどを購入した。</p> <p>その他、情報システムに関連する学会の会費などに研究費を使用した。</p> <p>4. その他の特筆すべき事項（表彰、研究資金の受入状況等）</p> <p>特になし</p> <p style="text-align: right;">(本文は 2 ページ以内にとめること)</p>					